

北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート かわら版

第三十九号

大久保むが事務所

北九州市八幡西区則松一丁目二
TEL 093-186-3155
FAX 093-186-3155
http://www.mugamura.net
E-mail yahatanishi@mugamura.net



令和元年6月定例会

元号が令和に代わり最初の議会である、令和元年6月定例会が開催されました。

北橋市長が4期目改選後最初の議会とあって、史上最多の33人が代表質疑・一般質疑に登壇し、市政について様々な議論を交わす、非常に活発な議会となりました。私も今議会では質疑に立つ機会を得て、1時間の質疑を行いました。

質疑では、市が積極的に取り組みを進めているSDGs関連や、統合型リゾート(IRS)の誘致、4月から条例が施行された「子どもを虐待から守る条例」関連、少子化・人口減少など多くの議論が進んでいました。



SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた17のゴール・169のターゲットからなる目標です。
参考:「持続可能な開発目標(SDGs)とは」(国際連合広報センター)

今年度予算はこれまで市が取り組んできた「元気発信!北九州プラン」により、北九州空港の乗降客数や来北の外国人観光客が過去最高を記録したり、犯罪の減少率が日本一に、さらに子育てしやすい、高齢者が住みよいまちなど連続して日本一を記録し続けるなど、好循環の兆しを加速させる思いを込めて、以下のキャッチフレーズと4つの柱を掲げ重点的に取り組むとしています。

「人や投資の流れを呼び込み 街の魅力を更に高める」
日本一住みよいまち実現予算

- 1 人や投資の流れを加速させる 経済成長戦略の実行
- 2 まちの魅力や活力を生み出す 文化・スポーツの振興
- 3 安全・安心のまちづくり
- 4 住みよいまちの実現

※予算・決算の議会では、議案に対する質問を行うための質問の事を「質疑」という言い方をしています。予算・決算議会では「質問」という呼び方をしています。

「令和元年 一般質疑を行いました!」

今議会では教育関係、子どもを虐待から守る条例関連、市民センター関連、お出かけ交通関連の計4点について質問を行いました。

中学校新制服:北九州スタンダードタイプ学生服について

教育委員会では、中学校標準服、いわゆる学生服の動きやすさや防寒・暑さ対策等の機能性の課題、性の多様性に対応できるよう、令和2年度からブレザー型北九州スタンダードタイプの学生服導入に向け、検討が進められています。

進化する学校や、家庭の事情により異なりますが、一般的に中学校に入学する際には、制服をはじめとした学用品等を揃えるのに10万から12万円ぐらいが必要だと言われています。所得の厳しい家庭では仮に就学援助のような支援を受けていても全額を賄うことはできず、家計を圧迫することになります。

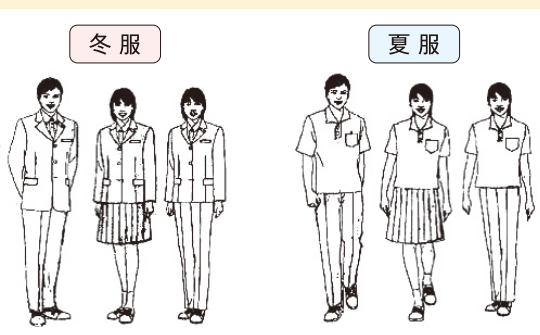
このため、新しい標準服の導入は、これまでの学生服の機能性や、性の多様性などの課題に対応する大切な見直しであると思えますが、保護者の経済的な負担という課題にも対応できるよう議論すべきだと考え、質問を行いました。

「質疑のポイント」

新制服が導入されても、これまで詰襟制服やセーラー服を標準服としていた学校ではこれまで通り詰襟やセーラー服を着用できます。

北九州スタンダードタイプの価格帯が高いところで決まった場合、結果としてそれらを購入できる人が限られたり、購入できなくなるなどという事がないように、価格にはグレードを設ける事などが答弁としてされ、かなり前向きに評価できます。

市全体として経済的に厳しい家庭も多い中、負担の軽減が行われることで、その余力を新しい学習機会へ振り向けようという事が出来ればと考えます。



北九州スタンダードタイプ学生服のイメージ (平成31年1月31日 北九州市議会教育文化委員会資料より抜粋)

学校校納金にPTA会費が含まれている件について

学校校納金は義務教育にかかる費用のほか、副教材費や給食費などを一括して学校に納付するお金のことです。校納金は保護者が学校に引き落とし口座を届け出て引き落とされるものでありますが、この中にPTA会費が含まれています。PTAは任意の団体の為、入会意思の確認を取ったうえで引き落としを行わなければならないのですが、多くの学校で

「質疑のポイント」

は校納金の項目にPTA会費と一緒に書かれているため、保護者が必ず支払わなければならないものと錯誤してしまう恐れがあります。

学校はこうした錯誤が生じないように、入学説明会であったり、校納金の説明などの際に、PTAが入会自由な組織であること、PTA会費は入会した人のみが支払う事を明記すべきではないかと質しました。学校や先生、PTAを守るためにも、入学説明会資料に正しく記載することを提言しました。

熊本市ではPTAに入会した覚えが感じられた保護者がPTAを相手取って訴訟が行われ、最終的に和解となりました。これは学校やPTAが保護者にPTAは任意制であり、入退会は自由であることもしっかり伝えていないことが原因とされています。本市でも同じような事があつた場合、十分保護者に説明を行っているのか、そのうえで校納金からお金を引き落とされているのか、という事が問われる可能性があり、教育委員会、学校、先生やPTAをこうした事態から守るためにもしっかりと説明を果たす必要があると考え、この質疑を行いました。

児童虐待防止の強化について

本市の子ども総合センターに寄せられる相談は、近年大きく取り上げられた虐待事案などの影響や、社会全体の虐待に対する認識が向上したことにより大きく増加しています。

平成30年の子ども総合センター事業概要等により、平成25年度に受けていた児童虐待相談対応件数は380件、平成29年には1139件、平成30年度1487件と実に約6年前に比べて4倍近くに増加しています。

「質疑のポイント」

児童虐待から子供を守るためには、必ず通報から48時間以内に子供の安否確認が必要で、その対応を子ども総合センター職員14人が、土日祝日も含む24時間、2人1組体制で通報の電話を受けています。ひとつ間違えば子供の命に関わる非常に精神的重圧のある業務に加え、激増する通報に対してセンター職員は限定的で、昼夜を問わず緊張状態を強いられています。

福岡市が行っているNPOとの協働事業は、土日祝日と夜間の電話対応を専門のNPOに委託することで、適度な業務分担がすすみ、子ども総合センター職員はより緊急性の高い案件に集中できるようになったとのことです。

こうしたNPOとの協働はかなり高い相乗効果を発揮することができ、結果として子どもの命を守ることにもつながると考えます。早期に実現できるよう議会から引き続き声をあげて参ります。



子どもを虐待から守る取り組みで、福岡市と協働で子どもの見守りや家庭訪問を行っているNPO法人ワークスコープさんから事業の聞き取りを行いました。



国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS



Democratic Party For the People

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
電話:03-3595-9988 (代表) メール:press@minshin.or.jp URL:https://www.dppf.or.jp



つ・な・ぐ
弁護士・元裁判官
春田くみこ

国民民主党は、参議院議員福岡選挙区に、元裁判官で弁護士の春田くみこさんを公認することを決定しました



働くみんなのちからになりたい
田中ひさや

国民民主党は、参議院議員比例代表に、田中ひさやさんを公認することを決定しました

全国で頑張る私たちの仲間をご紹介します



働く仲間の笑顔のために
田村まみ
参議院 比例代表 公認内定者 新人

つくろう、新しい答え。



Democratic Party For the People



**まっすぐに力強く！
働く仲間のために**
参議院 比例代表 公認内定者 1期
浜野よしふみ



いのちを守る
参議院 比例代表 公認内定者 2期
大島九州男



挑む。
石上としお
参議院 比例代表 公認内定者 1期



仲間の思い、かたちにしたい
参議院 比例代表 公認内定者 1期
いそざき哲史